

5 区の特徴を活かして取組を強化する分野

新しい成熟社会における住宅都市としての可能性を発展させるために区の特徴を活かした産業振興を進めます。具体的には、超高齢社会を迎えて区民生活を支える福祉・生活関連産業、区の歴史とともに歩み、区独自の文化を育んできた農業やアニメ産業、多くの住民が住まう自治体として欠かせない商業、区の魅力を高めることによって産業経済の活性化にも貢献する「練馬ならではの観光」、以上5つの分野への取組を強化します。

(1) 福祉・生活関連産業を育成・支援する

《現状と課題》

練馬区は72万区民が生活するみどり豊かな住宅都市です。多くの人が住まうまちだからこそ、良好な住環境の中から生活に密着した住宅都市ならではの産業が発展し、根づく可能性があります。

身近な飲食店などの小売業から情報通信業まで区民生活を豊かで快適にする生活関連産業は様々あります。とりわけ、医療・福祉・介護といった分野は、超高齢社会を背景に事業所数も増加傾向にあり、必要性も高まっています。一方で、事業所数は増えているものの、人材の確保・育成や、経営の安定化などの課題があるとともに、多様な需要に応える新製品の開発などが期待されています。

また、区内でも高齢化が進んだ地域や交通が不便な地域など、地域によって、区民が必要とする企業サービスは変わると考えます。地域需要を踏まえた産業支援をモデル事業として行うなど、地域特性に応じた産業支援が必要です。

《取組の方向性》

方向性その1 福祉分野の事業者支援や人材活用を進めます

福祉事業者の持続可能な経営に向けて、支えあい、いきがいつくりの観点から元気高齢者の活用や福祉分野専門の創業相談・経営相談などにより支援します。

方向性その2 意欲ある事業者の取組を支援します

福祉・生活関連産業での創業や新製品開発などに積極的に取り組む事業者を育て、支える仕組みづくりを進めます。

重点的に取り組む事業

- ・ 福祉事業者向け創業相談・経営相談の実施
- ・ 人材の確保・育成
- ・ 企業連携による新製品の開発支援
- ・ 空き店舗・空き家の活用による支援





介護人材の研修

(改装前)

(改装後(美容院))



(外装)



(内装)

空き店舗の活用



(2) 都市農業の振興と都市農地の保全を推進する

《現状と課題》

練馬区は23区一番の農地面積を有しており、少量多品目栽培による充実した庭先直売や農業体験農園、観光農園など都市農業の魅力を活かした農業経営が意欲的な農業者により展開されています。都心近くにありながら農を身近に感じられる都市であるというのは区の大きな魅力です。

課題は、相続時の税負担や後継者問題などから農地や農業者が減少し続けていることで、都市農業の安定的な継続と発展のためには、農地制度の改善と農業者の農業収入を向上させて経営基盤を強化することが必要です。

《取組の方向性》

方向性その1 意欲ある農業者の取組を支援します

練馬産農産物の魅力を更に向上させて、事業の拡大や販路の拡大などに取り組む意欲的な農業者を積極的に支援します。

また、小規模農家や高齢化の進む農家が、都市農業・農地が持つ様々な魅力を発揮できるよう、支え手の育成・活用促進に取り組みます。

方向性その2 練馬の都市農業の魅力を発信します

農業、商業等が連携した即売会や駅等での練馬産農産物の直売イベントなどを開催し、区内外の住民が都市農業の魅力を実感・体験できる事業を推進します。

また、練馬産農産物のブランド化に取り組み、練馬産農産物の魅力を発信します。

方向性その3 都市農地を保全し都市農業の発展に取り組めます

都市農業・農地は、大切な社会資本であり、世界の最先端をいく東京の中で維持されていることは、住民にとって貴重な財産でもあります。

都市農業・農地がもたらす恩恵を住民が将来にわたって享受できるよう、農地保全に向けた活動や国内外の都市との交流、積極的な情報発信を行うなどして、都市農地を保全し都市農業の発展に取り組めます。

重点的に取り組む事業

- ・ 経営改善や事業拡大に取り組む農業者の支援、農の支え手の育成・活用促進
 - ・ ねりマルシェ等の販売イベントの開催や練馬産農産物のブランド化の推進
 - ・ 都市農業振興基本法に基づく取組の推進
 - ・ 世界都市農業サミットの開催
 - ・ 農の風景育成地区制度の活用などによる農地保全に向けた取組
- 農の風景育成地区制度...農のある風景を将来に引き継ぐことを目的として東京都が創設した制度。





練馬区農の学校の初級コースの講習（高松1丁目）



区内の農の風景（石神井台5丁目のキャベツ畑）



(3) 特色ある産業としてアニメ産業を応援する

現状と課題

アニメはいまやクールジャパンの象徴として世界中から認知されています。現在、日本アニメを制作する会社が練馬区を中心とする東京西部地域に集積し、日本のアニメーションを世界に送りだしています。全国に約420社あるアニメ企業のうち約80社は練馬区に立地していることから、アニメ産業は練馬区の特色ある産業であると言えます。しかし、世界的に競争が厳しさを増す中、日本のアニメ制作を支える動画、原画などの人材の育成が急務となっています。

また、練馬区は多くの有名マンガ家が練馬の地に居住していること、日本初の劇場用アニメ、テレビアニメが制作された地であることから、アニメ・マンガ文化を育んできた地であると言えます。これら練馬区の特色や資源をまことにぎわいづくり、特色づくりに活かしていく取組も必要です。

取組の方向性

方向性その1 アニメ企業の集積、人材育成を応援します

世界を魅了する新しいアニメ作品やキャラクターが練馬の地から生まれ続けるよう、企業の集積を進め、日本アニメを支える人材の育成等を応援していきます。

方向性その2 アニメ・マンガの魅力を発信し、アニメ文化の普及・地域の活性化に活用します

アニメやマンガの文化的な意義や価値を高め、練馬区の魅力として広く発信していきます。また、アニメ・マンガを地域の資源としてまちの活性化等にも活用していきます。

重点的に取り組む事業

- ・ 動画・原画のアニメーターなどアニメ制作を担う人材育成の仕組みづくりを支援（作品等発表の場の提供、動画等実務講座開催支援）
- ・ アニメ事業者、映像事業者、商店街等と連携し、アニメを活かしたまちづくりの推進
- ・ 練馬を舞台にしたアニメ作品の誘致とまち歩き等への活用
- ・ アニメ・マンガの魅力を区内外に発信（他自治体、事業者と連携した情報の発信）
- ・ 区内小中学校等におけるアニメを活かした教育プログラムの充実





大泉アニメゲート（大泉学園駅北口）



区内アニメ事業者の制作現場の様子



練馬アニメカーニバル



練馬を舞台にしたアニメ作品



(4) 商店街の新たな魅力づくりを支援する

現状と課題

商店街は、区民の身近な買い物の場だけでなく、安全・安心やコミュニティ形成など地域の核を担う場です。練馬区には、100を超える商店街が存在します。近年は、コンビニや大型スーパーの進出による顧客離れや担い手不足による商店街の組織力の低下など、商店街を取り巻く環境は厳しい状況です。今まで通りの単体の商店街への支援だけでは、効果が限定的になっており、商店街を構成する各店舗が経営基盤を安定させる努力が必要です。

加えて、商店街を含む地域全体で、まちの魅力を高め、特色ある地域となる取組を進めていく必要があります。

取組の方向性

方向性その1 魅力ある個店づくりを支援します

商店街を構成する個店の新商品開発や魅力あるサービスの提供といった意欲ある取組を支援し、個店の顧客獲得や売上向上につなげ、商店街の核となる個店・人材の育成を進めます。

方向性その2 複数の商店街が連携した、地域の特色づくり・商店街の再生を進めます

商店街同士の連携強化を進め、複数の商店街が合同で行う地域の特色を活かした取組を支援し、商店街を含むまち全体のブランド力を生み出していきます。支援にあたっては、まちづくりを契機とした商店街の再生にも取り組んでいきます。

方向性その3 誰にでも優しい商環境づくりを進めます

少子高齢化を見据え、高齢者や子育て世代など誰もが買い物をしやすい環境づくりをソフト・ハード両面から進めていきます。

重点的に取り組む事業

- ・ 個店同士の連携による商品開発やイベント等の取組への支援
- ・ 個店の魅力や店主のスキルを向上させる「まちゼミ」への支援
- ・ 魅力ある店舗づくりにつながる店舗改修支援
- ・ まちのブランド化に向けた取組や、まちづくりを契機とした商店街再生に対する重点的な支援制度の創設



商店街のイベント



北町阿波踊り

商店街の風景



栄町本通り商店街振興組合

個店の創意工夫により生まれた商品の一例



洋菓子屋と和菓子屋のコラボレーションによるどら焼きアイス



大根の葉を使った大福



練馬産の大根を使ったとんかつ

まちゼミの様子



スイーツ店によるまちゼミ



美容院によるまちゼミ



(5)「練馬ならではの観光」を推進する

現状と課題

練馬区はいわゆる観光都市のように、直接的な経済効果が期待できる有名な観光資源が多く存在するわけではありません。

しかしながら、練馬区内にも、日常の中にきらりと光る特色ある資源やこれまでに育まれてきた伝統や文化があります。また、区民や事業者が新しい価値を創り出す取組も様々な場所で行われています。練馬区全体の魅力を高め、区民の誇り・愛着に繋げていくため、これらの資源や活動を磨き、価値を高め、特色あるものとして広く発信する必要があります。

事業者や産業団体においても、このような取組を進め、事業や商品、サービスの魅力を高め、経済効果につなげていく必要があります。

取組の方向性

方向性その1 「練馬ならではの観光」の仕組みをつくります

地域で育まれた文化や資源、区民の様々なチャレンジを磨き、効果的に発信し、区民のみならず、区外や外国人など多くの方々に体感してもらう取組を「練馬ならではの観光」として位置づけ、仕組みづくりを行います。

練馬区の良さを肌で感じてもらうことによって、「住んでよし」「訪れてよし」の区のイメージを高めていきます。

方向性その2 「練馬ならではの観光」を経済の活性化につなげます

事業者や産業団体が「練馬ならではの観光」の取組に参加し、区民や様々な団体との交流が生まれる機会を増やします。区民や事業者同士の交流・連携を進め、新たなビジネスやまちのにぎわいを創出し、区内経済の活性化につなげます。

重点的に取り組む事業

- ・ 練馬の魅力を徒歩や自転車で巡れるコースの設定と戦略的なPRの推進
- ・ 工場見学、農業体験、アニメ制作体験、伝統工芸体験等、区内産業を体験できる場の創出
- ・ 未来に向けて区の活力を発信し、区民が一体となるシンボルとして練馬まつりを充実
- ・ 区の歴史や伝統文化を発信する照姫まつりの充実
- ・ オリンピック、パラリンピック開催をチャンスと捉え、外国人や区外の人々を誘客
- ・ 練馬果樹あるファーム事業やねりマルシェなどによる農の魅力発信



【練馬の魅力】



照姫まつり（照姫行列）



練馬まつり（としまえん会場）



みどりある景観（石神井公園三宝寺池）



新鮮な農産物の直売所（石神井台）



歩いて巡る（ねり歩き）



自転車で巡る



子ども達のアニメ制作体験
（アニメプロジェクト in 大泉）



産業・観光情報コーナー（ココネリ3階）

